

旧相農飯館校の備品を 希望者にご活用いただきます

旧県立相馬農業高等学校飯館校の解体に伴い、体育館に残っていた時計や木製棚、バスケットゴール、校歌額などの備品を、希望者にお譲りしました。8月4日の引き渡し日、受け取りに訪れた皆さんは、「母校の思い出として家に飾りたい」「再利用して職場で活用したい」などそれぞれの想いを話していました。歴史ある学校の思い出深い品々が新たな場所で活用され、飯館村の記憶を未来へつないでいきます。



校歌額を受け取る佐藤八郎さん(右／深谷)。震災の記録として展示をする予定だそうです。



新橋地区の情緒豊かな夏祭り 『新橋こいち祭』に出展しました

7月23日・24日の2日間、東京都港区で開催された『新橋こいち祭』(新橋地区商店会主催)に出展しました。首都圏に暮らす皆さんに、飯館村の情報や特産品を直に届けて、関心や共感を育み、訪問のきっかけにもしていただくという取り組み。「飯館村魅力向上発信事業」の一環です。



新橋駅前の「SL広場」にブースを構え、生産者と役場職員が、物産の販売を通して来場者と交流。一人ひとりに飯館村の魅力を伝えました。



新橋駅前にて、飯館産の夏の花々、黒毛和牛メニュー、ドリンクなどを販売し、来場者と交流しました。

飯館電力株式会社から 寄附をいただきました

飯館電力株式会社(菅野宗男代表取締役社長／佐須)から、飯館村の「陽はまた昇る基金」に、19万6,000円の寄附をいただきました。

8月6日、同社の荒利喜さん(飯樋町)と三瓶政美さん(大久保・外内)が役場を訪れ、杉岡村長に寄附の目録を手渡しました。同社からは令和5年度から継続して寄附をいただいています。

「陽はまた昇る基金」は、なりわいの再生など、震災からの復興に関する取り組みに活用されています。



杉岡村長に寄附の目録を手渡す飯館電力株式会社の荒さん(右から2人目)と三瓶さん(右端)。

雨に負けない熱戦と笑顔の交流 第5回村長杯パークゴルフ大会

7月26日、いいたてパークゴルフ場で、「第5回飯館村長杯パークゴルフ大会」を開催しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、参加者の皆さんは、互いに声援を送りながら、笑顔でプレーを楽しんでいました。大会結果は次の通りです。

【男性の部】1位:伏見光男さん(川俣町)／2位:高橋則雄さん(二枚橋・須萱)／3位:伊藤秀一さん(二本松市)

【女性の部】1位:北原澄子さん(宮内)／2位:猪狩幸子さん(福島市)／3位:佐藤裕子さん(南相馬市)



村内外から多くの方が参加して、雨にも負けず熱戦を繰り広げました。杉岡村長を囲んでの記念撮影。

村役場で避難訓練・ 災害対策本部訓練を実施

8月19日、役場庁舎で、消防飯館分署の協力のもと、火災を想定した避難訓練と、役場消防隊による放水訓練を実施。火災発生時の初期消火や避難経路の確認などを行いました。

また、同日午後には、株式会社ネクセライズの協力で、災害発生状況を仮想しシミュレーションする災害対策本部訓練を実施。情報収集や職員間の連携など、災害時に必要となる対応を確認し、防災意識を高めました。



火災を想定した避難訓練。役場消防隊の放水訓練の他、消火器を使った初期消火の訓練も行いました。



飯館村の農業をテーマに 東北大学で特別講義

東北大学(宮城県仙台市)で、7月24日、飯館村のスマート農業をテーマに特別講義が行われ、同大農学部の学生ら25人が受講しました。この特別講義は「いいたて移住サポートセンター」の企画で、村内の耕作放棄地で大規模農業を行う農地所有適格法人「ちーの」の中谷内美昭代表が講師を務めました。中谷内代表は、AI技術やドローンなどを活用した米の栽培方法を紹介。農業再生に挑戦する意義、地域のポテンシャルなども受講生に伝えました。9月には現地にて、フィールドワークが実施される予定です。



飯館村での取り組みを語る中谷内代表。「農業の技術革新を実現し浜通りから世界に発信したい」。